

Muribushi 群星

隔月発行【むりぶし】



沖縄総合事務局 局報 / 第279号



特集: 牛海綿状脳症(BSE)の疑いのない
安全な畜産物の供給について

21世紀への挑戦
~元気企業調査(第2弾)~

CONTENTS

目次

- 21 「沖縄在勤の思い出」

琉球新報社 記者 小那霸安剛

電気保安協会全国連絡会議

(元通商産業部長)

藤井 隆宏

- 20 「恩恵の印」

琉球新報社 記者 小那霸安剛



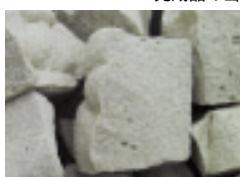
表紙解説
世界遺産に登録された中城城跡(中城村)
築城年代ははっきりしないが15世紀頃、勝連城主阿麻和利を奉制するため、護佐丸によって築城されたとされる。
城壁の美しさが高く評価されている。



回収した空びん



完成品の山



軽石に似た完成品



多孔質軽量資材の製造

具志頭村にあるガラスびんリサイクル施設では、自治体等が回収した空きびんを粉碎機でパウダー状にしたのち、焼成炉で加熱、溶融、冷却の工程を経て、軽石に似た多孔質軽量資材に再生します。再生品は、土木、建築、農業、緑化用として使用ができます。

守ろう! 地球環境!

1 -十一世紀における万国津梁の実現

沖縄ワベハシヤンセンター 館長 比嘉悦子

特集 Special Edition

2 牛海綿状脳症(BSE)の疑いのない 安全な畜産物の供給について

【特集その2 / 経済産業部】

4 -十一世紀への挑戦 -元気企業調査(第一弾)-

【特集その1 / 農林水産部】



- 8 市町村合併支援について
【「仕事の窓その1 / 総務部】
- 9 沖縄「アーティストアンド事業」～知念村久高原～
【「仕事の窓その2 / 総務部】
- 10 十一月は下儲け取引適正化推進月間です
【「仕事の窓その3 / 総務部】
- 11 管内経済情勢報告について
【「仕事の窓その4 / 財務部】
- 12 沖縄地域雇業労働問題連絡会議における取組について
【「仕事の窓その5 / 経済産業部】
- 13 交通パリアフリー法における旅客船の基準について
【「仕事の窓その6 / 運輸部】
- 14 災害対策用機械について
【「仕事の窓その7 / 開発建設部】
- 15 超大型沈埋函の曳航及び沈埋・接合一事について
【「仕事の窓その8 / 開発建設部】
- 16 沖縄観光振興会議を開催!
【「仕事の窓その9 / 開発建設部】

一
十
紀
序



沖縄コンベンションセンター 館長
(沖縄振興開発審議会 総合部会 専門委員会委員)

比嘉悦子

一〇〇一年九月一日、今世纪最悪の悲劇がニュー・ヨークを襲つた。（二十一世纪は始まつたばかりだが、この事件が最悪であると考えたい。）同时多発テロという社会、グローバル社会を象徴するこの事件を、私たちは茶の間のテレビ画面から映画を見るような感覚で見せられたというのも心痛い話である。

この事件によつて人々は飛行機が武器になり得ることを教えられ、一齐に飛行機での旅行を控えだし

た。その影響をもろに受けているのが航空会社と世界各地の観光地、そしてその関連産業だ。沖縄もその例に漏れない。観光立県を打ち出し、ポスト第三次沖縄振興開発計画においてもリーディング産業としての観光・コンベンションが強調されている矢先である。案の定、いつもは十月から十一月に集中している修学旅行がなだれの如くキャンセルされ出した。十月二十九日現在、沖縄観光コンベンション・ビューローの発表によると修学旅行のキャンセルが六百七十八校十五万三千七百八十八人、一般団体が千百三十八団体四万六千九十八人だという。個人客のキャンセルを入れると二十五万人から三十万人に達すると言われている。

暗いニュースが続く中、そのような空気を一掃するようなイベント「第三回世界ウチナーンチュ大会」が十一月一～四日にかけて沖縄コンベンション・センターを主会場に開催された。「ウチナーンチ

「（沖縄人）大会」は移民を中心
に世界各地へ雄飛して行った県人
とその関係者（配偶者、一世、二世、三
世など）を人的ネットワークとし
て結び付けようという目的で平成
二年（一九九〇）に第一回、平成
七年（一九九五）に第二回が開催
された。平成十一年（二〇〇〇）
の開催予定であった第三回は G
8サミットのために一年遅れの開
催となつた。

イの県系二世口バート・仲宗根氏の呼びかけで結成された。一九九七年九月にハワイにおける第一回大会を開催して以来、一年毎に世界大会を開いている。名譽会長を務める稻嶺県知事も「WUBは沖縄移民史」のひとつとして認識している」との見解を示しており、口バート・仲宗根氏も「当初三回までの大会はネットワークの基盤整備に時間を取っていたが、第四回大会からは具体的な物産や商談がまとまり、これからもっと大きな力となって沖縄経済の振興に貢献できる」と語っている。ちなみに第五回大会のスローガンは「一トで結ぶ二十一世紀」であつた。

二十一世紀に向けたウチナーネットの更なる構築を掲げた「ワールド学生会議」は大会初日を除く三日間、述べ十八時間をかけて県内外在住のウチナー・ンチュ学生達が討議した。かなり白熱した論議が交わされたが、彼等が最終的に提案したのは、世界のウチナーネットを繋ぐホームページを立ち上げる事、継続した交流と人材育成などであつた。

大会会場にいながら縦ての会議をじっくりと聞く事はできなかつたが、世界の架け橋ならんとするウチナーンチューのパワーを肌で感じ、沖縄の二十一世紀における万国津梁の実現は間近かにあると確信した四日間であった。

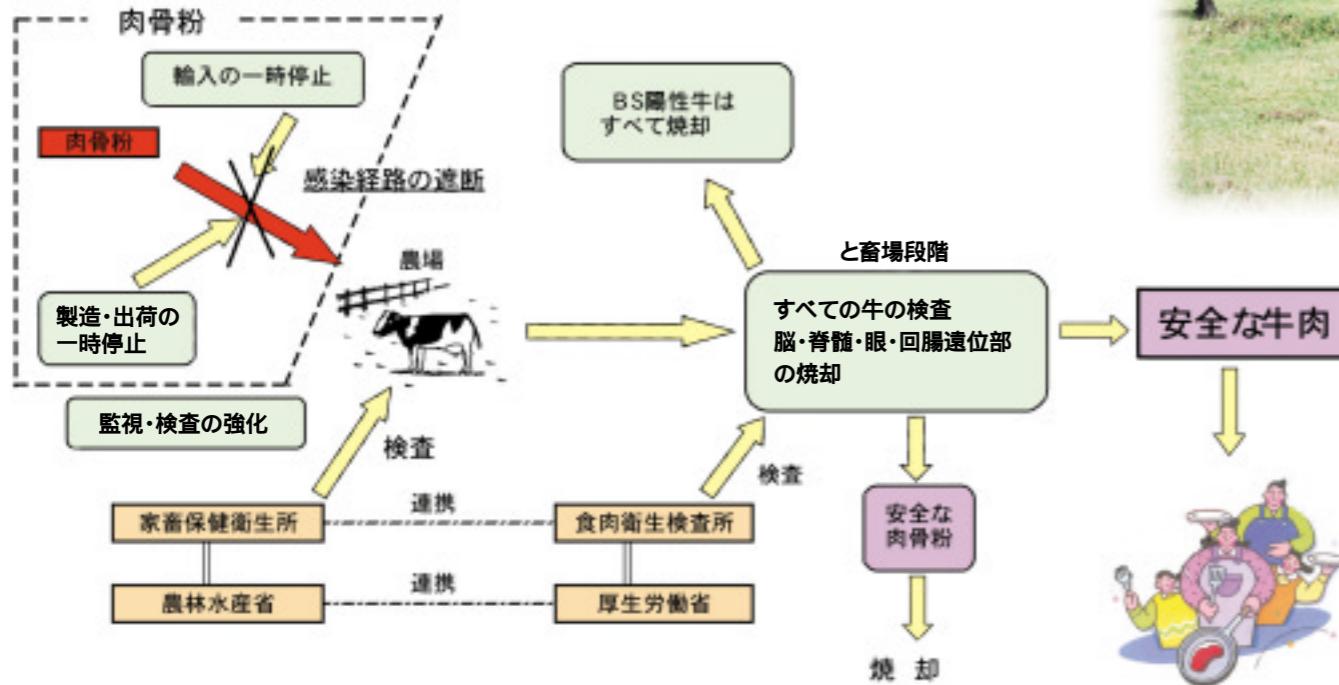
Associationで、ハワ

牛海绵状脳症(BSE)の疑いのない 安全な畜産物の供給について

その 1



牛海绵状脳症(BSE)の疑いのない安全な畜産物の供給体制の構築



牛海綿状脳症(BSE)に関する説明会開催

沖縄総合事務局では、安全な食肉以外はと畜場から市場に出回らないシステムが確立されたことを受けて、幹部職員が関係市町村長等に直接説明を行うとともに、北部・中南部・宮古・八重山における各地区の畜産農家、生産者団体、業界関係者等の生産サイドの方々に対する説明会、消費者団体、学校給食会、栄養士会、量販店等の消費・流通サイドの方々に対する説明会を随時開催し、生産者対策や食肉の安全性等に対する理解を求めてきました。

このような中で、説明会においては、生産サイドからは、今後の畜産経営が安定するよう特段の配慮をお願いしたい旨、消費・流通サイドからは、安全な食肉が供給されるようお願いしたい旨の要望がなされました。

説明会の開催により、
生産者サイドには生産
者対策に対する理解、
消費者サイドには食肉
の安全性についての理
解が深まったことと思
われます。



新検査システムで採用するBSE迅速検査(エライザ法)は、その牛がBSEでない場合でも陽性として検出しやすい特性を持っていることについて、ぜひ御理解下さい。

したがつて、このBSE迅速検査で陽性とされる牛が発見された場合は、さりに精度の高い確認検査を実施し、これによつてBSEであると確定診断された場合、全て直ちに公表することとしています。

国民の皆様方には、このBSE迅速検査システムは、その牛がBSEでない場合でも陽性として検出される特性を持つてゐることをぜひ御理解下さること

と畜場においてBSE感染性がある特定危険部位である脳、脊髄、眼、回腸遠位部については除去・焼却農場において、BSEが疑われる牛、その他中枢神経症状を呈する牛等について、BSE検査を含む病性鑑定を実施。検査結果にかかわらず、と体はすべて焼却することとしました。

これにより、今後は、安全な生からのものだけが、と畜場から市場に出回り、それ以外のものは食用としても飼料原料としても一切出回ることのないシステムが確立されましたので安心です。

さらに、現在流通している加工食品について、製造者に対して自点検を求めるとともに、特定危険部位の使用・混入が認められた食品の製造・販売の自粛や自主回収を指導しています。

また、BSEの主な感染源とされている肉骨粉等については、当分の間、すべての国からの輸入及び国内における製造・出荷を一時停止しました。これにより、BSEの感染経路が遮断されます。

今後、万一本部の感染が疑われる牛が発見されても、新しい検査システムによって完全にチックされ、食用としても飼料原料としても一切市場に出回ることはありません。

今後の感染経路は遮断されます
が、今回BSEと確認された1頭
に関しては、現在、輸入肉骨粉の
流通経路の解明など全力で原因究
明を進めているところです。

このようなことから、今回確認
された1頭以外に既にBSEに感
染している牛がないと断定する
ことはできません。

しかしながら、厚生労働省と農
林水産省が連携して、と畜場にお
けるすべての牛に対するBSE迅
速検査の実施や農場段階における
BSEサーベイランスの強化等の
新検査システムが整備されていま
すので、仮に新たにBSEが疑わ
れる牛が発生しても、このシステム
により発見され、すべて焼却処分
を行うこととなります。このため、
食用としても飼料原料としても、
市場に出回ることはありません。

牛肉や牛乳・乳製品は、もともと安全です。

牛肉や牛乳・乳製品はOIE（国際獣疫事務局）の基準において、もともと安全です。

牛海绵状脑症（BSE）は、英国で実施されたBSE感染牛の材料のマウス等への接種試験で牛からマウスへの感染が明らかとなつた脳、脊髄、眼及び回腸遠位部以外の部分からの感染は認められていません。

牛肉や牛乳・乳製品について不安を抱く方がおられますか、このことを十分に御理解の上、安心して召し上がってください。

安全な牛からのものだけが、と畜場から出回り、それ以外のものは一切出回らないシステムを確立しましたので安心です。

去る九月十日に牛海绵状脳症（BSE、いわゆる狂牛病）を疑われる牛が発見されたことをきっかけとして、各関係者の方々に食肉の安全性等に関する不安が拡がっておりましたが、農林水産省と厚生労働省が緊密な連携のもとでEUの検査基準をはるかにしのぐ世界最高水準の検査体制を確立したことにより、安全な食肉以外はと畜場から市場に出回らないこととなりました。

牛肉や牛乳・乳製品は、
もともと安全です。



その 1 総務部

併支援プラン」を策定したところです。
市町村合併支援プランは、市町村合併支援
ガイド制度 市町村合併の広報、
啓発、市町村合併支援窓口で構成
されています。

市町村合併支援に ついて

1 市町村合併支援について

地方分権の推進や少子・高齢化の
進展、国・地方を含めた財政の著しい
悪化など市町村行政を取り巻く情
勢が大きく変化している中において、
市町村の行政サービスを維持し、向
上させ、また、行政としての規模の拡
大や効率化を図るという観点から、
地方分権推進委員会の市町村合併
の推進についての意見(平成十一年十一
月一十七日)を踏まえ、市町村合併
について、国民への啓発を進めること
も、国の施策に関する関係省庁間
の連携を図るために、平成十三年三月
の閣議決定に基づき、内閣に市町村
合併支援本部が設置されました。
市町村合併支援本部は、平成十
二年八月、市町村が合併により新し
いまちづくりを行うに当たっての支
援策等を取りまとめた「市町村合

2 市町村合併支援窓口の設置

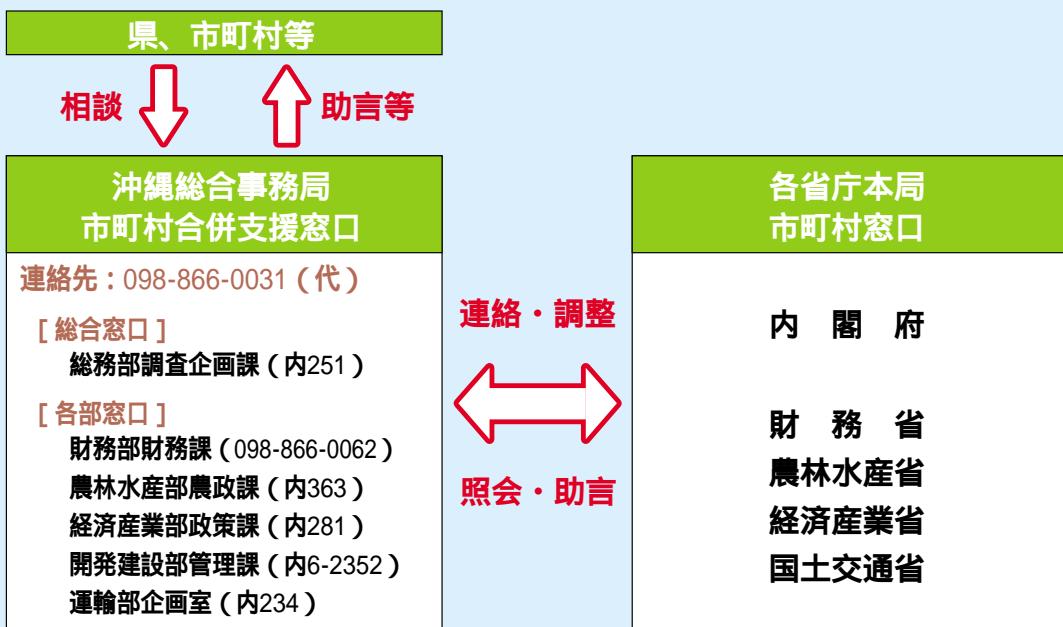
各省庁においては、市町村合併支
援本部の決定に基づき、インターネット
等も活用しながら、支援施策の紹
介及びその具体化の相談、啓発資料
の配布等による国民への市町村合併
の啓発等を行つため、本局及び地方
支分部局等に市町村合併支援窓口
を設置する」となりました。

3 沖縄総合事務局市町村 合併支援窓口の設置

沖縄総合事務局においても、平成
十三年十月、市町村合併支援本部の
決定に基づき、市町村合併に係る施
策の紹介及びその具体化の相談、啓
発等を行うため、市町村合併支援窓
口を設置しました。

総務部に総合窓口を置くことと
もに財務部、農林水産部、経済産業部、
開発建設部及び運輸部の各部にも
窓口を置き、所管の市町村支援策の
紹介等を行うこととしています。
また、沖縄総合事務局のホームページ
においても所管施策を紹介するこ
ととしています。

<沖縄総合事務局市町村合併支援窓口>





沖縄「リゾート」アイランダード事業

—知念村・久高島—



沖縄は、広大な海域に数多くの離島が点在する島しょ県であり、離島の活性化を図り、これは沖縄の振興にとって重要な課題の一つとなっています。

このため、内閣府沖縄振興局では、現在第三次沖縄振興開発計画に基づき、離島の持つ特性と住民の創意を活かして活動ある地域社会を形成するための諸施策を積極的に進めていきます。

「リゾート・アイランダード事業」は、離島の特性を活かした観光・レクリエーション施設等の整備を行い、他地域の人々との交流を推進し、明るい開かれた「リゾート」の形成に資することを目的に平成二年度から実施されています。九年度からは、従来の施設整備事業に加え、新たに「イベント等を通して他地域との交流の推進を図ることを目的とした「沖縄離島交流推進事業」を実施するなど、その拡充が図られています。

これは、平成十一年度及び平成十二年度の事業として実施された知念村久高島の「リーハナー・ロマンアイランド」について紹介します。

久高島は、沖縄本島知念岬の東方約五、三kmの太平洋上に浮かぶ人口約二百五十名の平坦な島で、神の島としても広く知られています。久高島では、年間三十余の神事・祭祀があり、それらの行事は、いすれも「神觀念」が強く、神々は東方の彼方から訪れてくるものと信じられていましたが、神事、祭祀の際は、東方海上へ「ライカナ（リーハナー）」に向かって祈願します。

「リーハナー・ロマンアイランド」は、神の島として、特産品展示即売施設及びレストラン（まぁーさ処・龍宮）、遊歩道（ロマンス・ロード）など、施設総面積は、二千十八m²で、離島体験宿泊交流施設「民谷資料館（二リーハナー・ハウス・イザイホーの館）」を中心としたものです。



離島体験宿泊交流施設・民俗資料館（ニラーハナーハウス・イザイホーの館）



特産品展示即売施設及びレストラン（まぁーさ処・龍宮）



遊歩道（ロマンス・ロード）

かしたレクリエーション施設や島の高齢者が経験した伝統行事を語る場所及び「ディイヤーサービスセンター」としての機能も備えた地域間交流型施設を整備したもので、施設総面積は、二千十八m²で、離島体験宿泊交流施設「民谷資料館（ニーハナー・ハウス・イザイホーの館）」を中心とした施設を始め、特産品展示即売施設及びレストラン（まぁーさ処・龍宮）、遊歩道（ロマンス・ロード）などを整備され、観光等による地域活性化を図ると同時に、他地域との交流の促進により、「明るい開かれた島づくり」に貢献する事業として期待されています。

「リーハナー・ロマンアイランド」は、このような「神の島」として、独特の文化遺産を有する久高島の特性を活用して、積極的に進めていきます。



その3 総務部

十一月は下請取引適正化推進月間です

下請取引のルールを守っていますか

下請代金支払遅延等防止法は、下請取引のルールを定めたものであります。このルールを親事業者が遵守することによって、下請取引をより公正なものにし、下請企業の利益の保護を図っています。

例えば、下請単価を一方的に引き下げたりすることや、安易な発注の取消しや納期の延期などもルール違反として禁止しています。本法は次のようなルールを定めています。

下請事業者に責任がないのに、いつたん注文した物品の受領を拒んではならない（受領拒否の禁止）。下請代金を物品の受領後六十日

以内に支払わなければならない（支払遅延の禁止）。

下請事業者に責任がないのに、あらかじめ決めた下請代金を支払時に減額してはならない（下請代金の減額の禁止）。

下請事業者に責任がないのに、受領した物品を返品してはならない（返品の禁止）。著しく低い下請代金を不适当に定めてはならない（買ったときの禁止）。

製品を均質にするため、原材料や工具・部品等を自己から購入させる場合を除き、自己の指定する物の購入を強制してはならない（購入強制の禁止）。

有償支給した原材料等の対価を下請代金の支払期日より早い時期に支払わせてはならない（有償支給原材料等の対価の早期決済の禁止）。

下請代金を一般の金融機関で割り引くことが困難な長期手形により支払ってはならない（割引困難な手形の交付の禁止）。

公正取引委員会及び中小企業庁では定期的に下請取引の実態を調査し、これらに該当する行為が起きていないかどうかをチェックしています。そして親事業者がこれらに該当する行為をしているときは、その行為をやめさせることも、下請事業者が受けた不利益の回復措置を講じてします。

下請事業者に責任がないのに、いつたん注文した物品の受領を拒んではならない（受領拒否の禁止）。下請代金を物品の受領後六十日

信頼 それはルールの遵守から

11月は下請取引適正化推進月間です。



公正取引委員会・中小企業庁

総務部公正取引室 (TEL 098-863-2243)
経済産業部中小企業課 (TEL 098-862-1452)

十一月は下請取引適正化推進月間です。この期間内には、全国各地において下請取引適正化推進講習会を開催します。詳しくは、総務部公正取引室又は経済産業部中小企業課にお問い合わせください。

また、下請取引に関する相談等もお気軽にとってください。



その4 財務部

管内経済情勢報告

平成十三年十月、財務課では管内経済情勢を次のとおり取りまとめました。

概況

最近の管内経済情勢をみると、個人消費は先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。住宅建設、公共事業は前年を上回っているものの、盛り上がりに欠けている。また、十三年度の設備投資は前年度を下回る計画となっている。観光も現状高水準を維持しているものの、先行きに対する不透明感がみられる。こうした中、企業活動をみると、生産は総じて低調な動きとなっている。十三年度上期の企業収益は増益見込みとなりていて、企業の景況感は後退している。なお、雇用情勢は依然として厳しい状況となっている。

「」のように、管内経済は、現状底堅さはあるものの、盛り上がりに欠けており、先行きに対する不透明感がみられる。

個人消費は主要スーパーが「」との

設備投資は十三年度は全産業で前年度を下回る計画となっている。

公共事業は、公共工事前払保証請負額でみると、県、市町村等で前年を上回っているものの、盛り上がりに欠けている。

「」のよう、雇用情勢は依然として厳しい状況となっている。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。新車及び中古車販売は堅調な動きとなっている。耐久消費財では、家電製品は猛暑効果で、「」が好調なもののがOA機器や白モノ家電などが前年を下回っている。新車及び中古車販売は堅調な動きとなっている。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。新車及び中古車販売は堅調な動きとなっている。耐久消費財では、家電製品は猛暑効果で、「」が好調なもののがOA機器や白モノ家電などが前年を下回っている。新車及び中古車販売は堅調な動きとなっている。

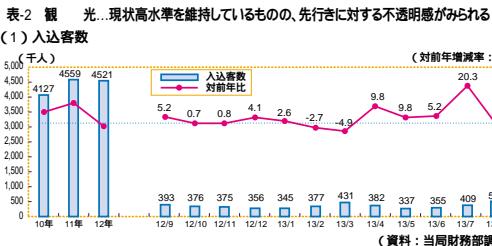
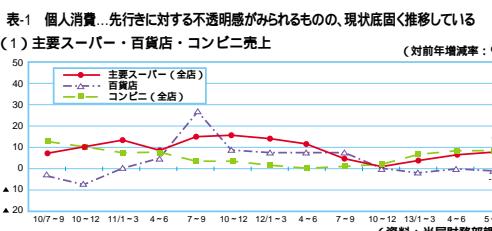
「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。



「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。

「」のように、個人消費は、先行きに対する不透明感がみられるものの、現状底堅く推移している。



その6 経済産業部

「沖縄地域産業労働問題連絡協議会」における取組について

はじめに

七月、八月の全国平均の失業率が五%となり、八月の沖縄の数値が九・二%となるなど、雇用・経済情勢は極めて厳しい状況となっております。

このため、経済産業省と厚生労働省は、八月上旬に全国九地域で「地域産業労働問題連絡協議会」を開催し、その結果も踏まえ、八月二十八日に、両省の連携による「地域産業・雇用対策プログラム」を取りまとめたところです。

沖縄総合事務局と沖縄労働局においても沖縄県の参加を得て、八月七日に、「沖縄地域産業労働問題連絡協議会」を開催し、最近の経済情勢・雇用情勢について情報交換を行うとともに、産業・雇用政策の連携等について検討しました。

プログラムには、雇用のニスマッチの速やかな解消や新たな雇用創出に向けて、関係行政機関や経済団体との連携や地域の求人情報の積極的開拓、公共職業安定所等の職業紹介機能の強化などが盛り込まれています。

沖縄総合事務局の取組み

現在、「沖縄地域産業労働問題連絡協議会」における検討事項や経済産業省と厚生労働省が取りまとめた「地域産業・雇用対策プログラム」のうち、次の事項について実行に移していくことになります。

(一) 求人情報の公共職業安定所への登録等について

工會議所、沖縄県商工会連合会、沖縄県中小企業団体中央会に協力を依頼。併せて、沖

縄県中小企業支援センターと雇用・能力開発機構沖縄センターとの連携等について沖縄県に協力を依頼。

(二) 経済産業部のホームページに厚生労働省の雇用関係施策をリンクづけするとともに、当局と沖縄労働局お互いの地域産業施策や中小企業施策、雇用施策等のPR。

雇用対策が改正され、助成制度の延長や採用時における年齢制限の緩和等の措置が十月一日から実施されています。その中で、例えば、ITや環境、バイオテクノロジー等の分野を対象とした「新規・成長分野雇用創出特別奨励金」は、公共職業安定所紹介要件が民間にも広げられました。また、三

雇用助成制度の拡充等

特に雇用情勢と経済情勢とは密接な関係があり、そのため、経済産業部では新規事業創出や「OKINAWA型戦略産業振興プロジェクト」の一層の推進に向けて取り組むこととしております。

特に雇用情勢と経済情勢とは密接な関係があり、そのため、経済産業部では新規事業創出や「OKINAWA型戦略産業振興プロジェクト」の一層の推進に向けて取り組むこととしております。

経済産業部HPもご覧ください。
<http://svokn/movehp/index.html>

- (三) 当地域における経済発展の先導役との期待が高い情報、健
- 康食品、環境、加工交易型産業の企業群(廃棄クラスター)を支援するための産業クラスター計画「OKINAWA型戦略産業振興プロジェクト」を推進することも、新規成長分野雇用創出特別奨励金等の使用の働きかけ。



(四) 沖縄労働局との連携による産学施策や雇用施策普及のための説明会や相談会を県内各地で実施。(計画中のもの 十二月四日十三時三十分～名護市商工会にて開催)

終わりに

一方で、事業主には、労働者の募集・採用時に年齢制限をかけないような努力義務が新たに課せられており、地域の雇用の場造りへの積極的な協力が求められています。



その7 運輸部

交通バリアフリー法における旅客の基準について

I 交通バリアフリー法について

我が国においては、諸外国に例を見ない急速な高齢化が進展しており、二〇十五年には国民の四人に一人が六十五歳以上の高齢者となる本格的な高齢社会が到来すると予想されています。また、約三百万人の身体障害者が障害を持たない人と同等に生活し、活動する社会を目指すノーマライゼイションの理念に基づき、障害を持たない人と同様のサービスを受けることができるよう配慮することが求められています。

このため、高齢者、身体障害者等が自立した日常生活や社会生活を営むことができる環境を整備する

II 旅客船のバリアフリー 基準について

海上運送法による一般旅客定期航路事業を営む者が平成十四年五月十五日以降、新たに当該事業の用に供する船舶

ただし、以下のものについては、基準によらないことができる。

災害等のため一時使用するもの（第一条）

総トン数五トン未満のもの（第五十五条第一項）

2 認定条項

適用対象船舶のうち以下のものであって、地方運輸局長（海運監理部長を含む。以下同じ。）が認定したものについては、各規定のうちから当該地方運輸局長が当該船舶ことに指定した規定は適用しない。

る」とが急務となっています。こうしたなか、高齢者、身体障害者、そのほか妊産婦などの公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進及び安全性の向上の促進を図るために、平成十二年五月十七日に「高齢者、身体障害者等の公共交通機関に関する法律（以下「交通バリアフリー法」といふ。）」が公布されました。

以下標記基準について説明する。

III 設備の設置数根拠

構造又は航行の態様が特殊なもの（第五十五条第一項）の（第五十五条第一項）平成十四年五月十四日までに船舶検査証書の交付を受けたもの（附則第二条第七項）

バリアフリー客席基準適合客席

適用対象：旅客定員二十五人に対する割合で設置すること。

車いすスペース

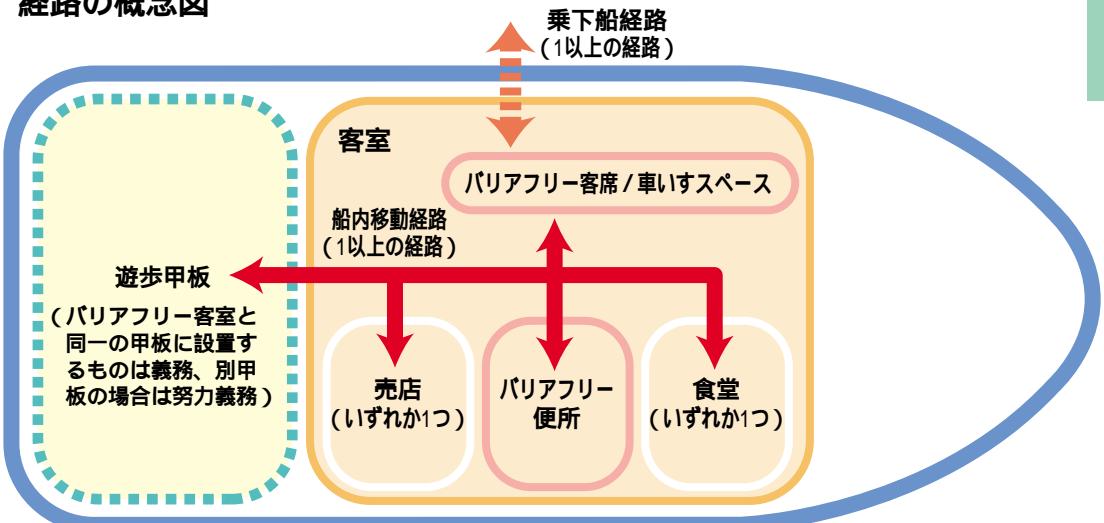
適用対象：旅客定員百人に対し一個以上の割合で設置すること。

バリアフリー便所

適用対象：船舶設備規程第百七条又は小型船舶安全規則第八十条の二において大便所の設置が義務付けられている旅客船（最大搭載人員五十人）に対して一以上。

バリアフリー食堂の車いす使用

経路の概念図



者用テーブル
適用対象：バリアフリー食堂のいすの収容数百人に対する割合で設置する。



災害対策用機械について

その8 開発建設部

災害対策本部車
台風・集中豪雨・地震等による河川・道路の被災現場に速やかに出動し、情報収集、応急対策の指揮や工法の検討、広報活動を行う現地対策の情報本部を構成します。

特徴として、走行時は小型トラック

(4t)サイズで普通免許で運転可能、リアボディを拡幅して居住空間を増やすことができます。

無線設備を備え、衛星放送・テレビの受信ができ、現地での情報収集・連絡が行なえます。

長期の現地対策にも対応できるよう、冷暖房設備、厨房設備、簡易ベッド設備、シャワー、乾燥式トイレ、発電機を備えています。

管内において台風や地震、集中豪雨等により、災害が発生した場合、現地での情報収集・情報提供活動及び応急復旧作業が迅速かつ適切に行えるよう、災害対策用機械や点検用機械を整備しています。また、これらの機械については、災害時、平常時にも、地方自治体等にも貸し出せることになっています。

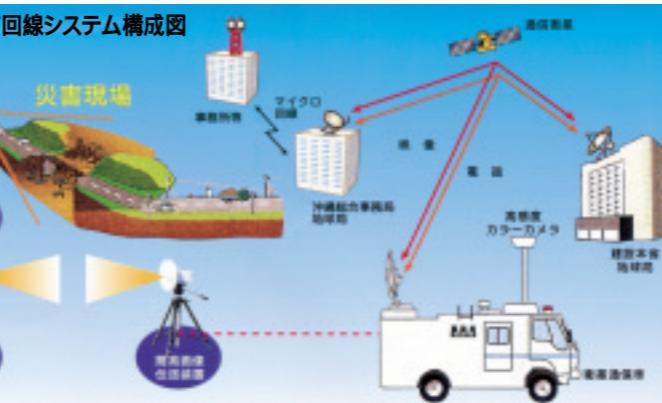
災害対策用機械保有状況

建設機械名	規格	台数
災害対策本部車	拡幅型	1
衛星通信車	衛星通信移動局	1
照明車	25KVA	2
応急組立橋	L=30m, W=6m L=50m, W=7.5m	2
情報収集車	無線装置付250ccバイク	2
橋梁点検車	歩廊式	1
標識車	LED式	2



災害対策本部車

衛星通信車
衛星通信移動局として、デジタル映像機器を使用して災害現場の映



像を衛星を介し送り込むことができます。また、車両が入らないところは、簡易画像伝送装置で映像を送ることができます。

また、臨時の電話アクセス回線を設営することができます。

照明車

被災現場の夜間の情報収集、応急復旧作業を安全に管理するために、単独、あるいは災害対策本部車、衛星通信車と組み合わせて使用します。また、照明灯部分に、カメラを備えています。北部国道事務所の照明車は、後部に操作室を備え、室内でドライブレコーダーを見ながら待機することができます。KWの照明灯四灯を備え災害復旧、情報収集の活動に十分な明るさを備えています。

照明車

災害時に、緊急時における災害対

情報収集車
災害時、四輪自動車が通行困難な時に、現場からの情報収集と災害本部への連絡を行うため、自動車より機動性の高い二輪車を導入しています。

応急組立橋

洪水時の、橋の流失、落橋、土砂崩れ等の道路の寸断時に、応急的に仮橋を架けて交通を確保します。B活荷重対応、主構はアーチ接合式で手延工法、クレーンでの架設ができます。また、二十センチ対応もあります。

橋梁点検車
橋梁の側面や裏面を安全で簡単に素早く点検でき橋梁の異常、損傷を早期に発見することができます。特徴として、トラックに架装されていて迅速に移動し、一車線分で作業することができます。歩廊式作業床を自由に歩くことで、任意の位置から点検・作業ができます。作業床は昇降、伸縮、旋回が自由により、歩行者や住民及び車両に告知することができます。車両を移動させながらの点検もできます。

災害対策用機械の出動について
災害時に、緊急時における災害対

を行います。
LED式の大型表示板で、回転灯とともに昇降し、高い位置で遠くから視認性を高めています。

災害対策用機械の出動について

局の動き

運輸部

沖縄観光振興会議を開催!

米国における同時多発テロ事件発生後の沖縄観光を取り巻く状況を踏まえ、平成13年11月4日(日)那覇市内のホテルにおいて扇国土交通大臣の出席のもと、第一回沖縄観光振興会議が開催されました。

同会議では、冒頭、扇大臣及び稲嶺知事からご挨拶があった後、沖縄県及び関係各業界から沖縄観光に関する現状及び今後の取り組みについて報告がなされ、その後各委員による自由討議が行われました。活発な討議の結果、次の5項目が決定され実施することとなりました。イベント、観光キャンペーン等の実施による正確な情報の提供と観光需要拡大のための取り組みを、会議出席者が一丸となって推進する旨の沖縄観光振興宣言の採択、200名を目標に沖縄に修学旅行教育関係者を招聘する事業の早急な実施、日独観光交流促進会議の今年度における沖縄での開催、

国際観光振興会による沖縄への外客誘致支援策の実施、日本観光協会による都道府県・指定都市観光協会会长等会議の沖縄での開催。



沖縄総合事務局(運輸部)としても、沖縄観光振興会議で決定された5項目にわたる取り組みを着実に実施するとともに、長期的に安定した沖縄観光の成長を図るためにの施策を講じていくこととしています。

開発建設部

「琉球歴史回廊」のホームページ開設

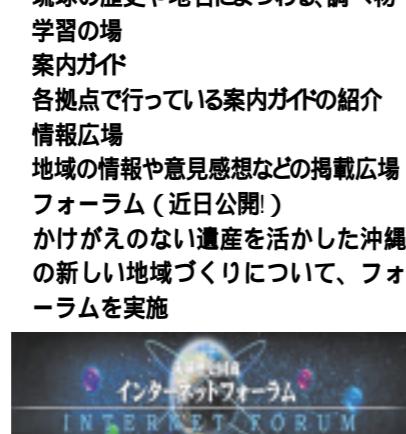


平成9年度の「沖縄政策協議会」において提案され、調査検討を進めてきた「琉球歴史回廊構想」の推進方策の一環として、この度ホームページを開設しました。

琉球歴史回廊とは、沖縄に残るグスクなどの遺跡を中心とした歴史・文化的な共通性を有する拠点を連携し、概念的な回廊を形成していくという構想です。

ホームページの内容
琉球歴史回廊に行く
テーマ拠点の紹介
ライナリー

琉球の歴史や地名にまつわる、調べ物・学習の場
案内ガイド
各拠点で行っている案内ガイドの紹介
情報広場
地域の情報や意見感想などの掲載広場
フォーラム(近日公開!)
かけがえのない遺産を活かした沖縄の新しい地域づくりについて、フォーラムを実施



開設日:平成13年10月1日(月)
ホームページアドレス
<http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/kairo/index.html>

開発建設部

平成13年度全国道路標識週間の実施

平成13年10月1日から7日まで、各道路管理者、公安委員会の協力のもと全国道路標識週間を実施しました。

今年の活動は、ポスター掲示、ラジオ放送、道路情報板、電光掲示板等による広報、街頭でのリーフレット配布を行いました。

また、沖縄県庁1Fロビーにてパネル展示を行いました。展示内容としては、道路に設置されている案内標識を实物大で再現したパネルの展示を行い、高さ2.2m、幅2.8mの大きさに多くの来客者の目をひきつけました。そのほか標識の役割や種類、諸外国の標識やおもしろ標識等のパネルも展示了しました。

さらに、RBCラジオの番組でインタビューを受け、週間のPRを生放送で行いました。

なお、道路標識・表示に関する一般の方からの意見を求めるための標識BOX(意見箱)を現在県内32箇所に設置しており、今後の標識整備に反映していくこととしています。(道路管理課)



局の動き

経済産業部

「全国地域情報化推進会議(情報化フェスタ)」開催

去る10月18日~19日の2日間にわたり、「全国地域情報化推進会議(情報化フェスタ2001)」(主催:経済産業省、共催:沖縄県、名護市)が、名護市万国津梁館において開催され、延べ300人超の入場者がありました。

本年度のテーマは「21世紀のIT戦略 - 豊かなネットワーク型社会新時代を探る -」で、初日は、伊藤滋早大教授から「都市再生の最近の動向」、牧野浩隆沖縄県副知事から「沖縄県のIT施策」についての基調講演がなされました。



また、海外事例紹介では、多機能型ICカードを使った取組で、世界最先端との評価を受けているヴァンター市(フィンランド)のセキュア(安全堅固)な統合型行政サービスについて、情報技術プロジェクトマネージャのアホネン女史から報告がありました。

二日目は、「電子自治体の構築と地域情報化への対応」と「ブロードバンド時代の地域コンテンツ流通のあり方」の二つの研究会がシンポジウム形式で開催され、パネリストから、現状・課題・今後の展望等の説明がなされた後、コーディネータによる提言と取りまとめが行われました。

また、ラウンジ棟においては、2日間を通して、沖縄県内で展開されている地域情報化関連の経済産業省施策、県独自の事業のパネル展示と実演プレゼンテーションが行われ、イベント終了後は、名護市マルチメディア館、NTT104センター、宜野座村サーバーフォーム(建設中)の視察も行われました。

農林水産部

「平成13年度公害防止管理者等資格認定講習(大気関係第3種)」を開催



農林水産部では、去る9月17日から9月21日までの5日間にわたり、沖縄県農業会館及び沖縄県水産会館において、「平成13年度公害防止管理者等資格認定講習(大気関係第3種)」を開催しました。

「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」では、一定規模以上の工場において、公害防止に関する組織体制を整備し公害防止を図るため、公害防止管理者等からなる公害防止組織の設置が義務付けられています。

このため、本講習においては、公害防止管理者等を育成するため、公害防止に関する必要な知識・技能を修得させるための講義が行われました。具体的には、公害概論、大気汚染関係法令、燃焼ばい煙防止技術、大気中におけるばい煙の拡散、除じん・集じん技術及び測定技術の6科目について、34時間、7名の講師による講義が行われました。

本講習を修了した者(テストを実施し合格基準をクリアした者)には国家試験を合格した者と同等の資格が与えられることになっておりますが、沖縄県においては、復帰の年の昭和47年から平成12年度までに625名の方々が資格を取得しており、本年度は、新たに、46名の方々に資格認定講習の修了証書が交付されました。

今後、これら資格認定者が、それぞれの現場において、公害防止施設の整備と施設の管理等の公害防止の実務に携わることとなります。

財務部

「金融講演会」について

去る9月5日財務部主催による金融講演会が那覇市において行われ、県内の金融関係者約80余人が出席しました。講師には金融庁監督局総務課長の木下信行氏を迎え、「金融資本市場の課題と施策」と題して講演が行われました。

木下氏は、講演の中で国政の中で重要な課題となっている我が国の不良債権問題について、米国の事例を紹介しながら日本経済の構造改革と金融機関の健全性という二つの観点から抜本的な解決が必要であることや、地域金融機関についても不良債権の圧縮はペイオフ解禁への対応としても重要であり、また、金融機関の財務の健全性を広く預金者等に知らせるための広報活動が必要である旨を説明し、証券市場についても構造改革、活性化を進めていくことが大きな課題であると述べられました。

講演終了後の意見交換では、地域金融機関のオーバーバランス化の推進や銀行等保有株式等取得機構(仮称)についての質問等活発な意見が交わされました。



恩恵の印

琉球新報社 記者

小那霸安剛



取材で本島北部や離島に行くと、沖縄総合事務局のシンボルマークを時折目に見る。出先機関の事務所や関連施設、道路標識、直轄事業の現場車両など。沖縄総合事務局のある那覇市前島界隈よりも、北部や離島で見る事務局マークは、こうぞう重みを増して映る。

標識や建物に張り付いた事務局マークは、県民の生活水準を引き揚げてきた「恩恵の印」であつたり、暮らしあとの実現を約束する「証しの印」であつたりする。

だが、事務局マークは沖縄にとってことづくめだったのがどうか。こじだちようとした考えたいたいのは、沖縄の自治意識と地域振興とのかかわりについてのことだ。

日本復帰を目前に控えた一九七一年の話。国や当時の琉球政府が復帰後の景気づくりを描いていたのが、沖縄開発庁と沖縄総合事務局の設置に異論を唱える主張が沖縄内外にあつた。

それは、沖縄の開発主体は沖縄であるべきだ。国策定の計画による沖縄開発は地方自治の侵害だ」というもので、総合事務局に関して言及され、「沖縄県庁は総合事務局の下請け機関にならしてしまつ」と受け止め方までされた。

現に琉球政府は七年十一月の「復帰措置に関する建議書」(幻の建議

書と呼ばれて)の「沖縄県のようないい小さな地域にほう大きな国の機関が設置されると、沖縄の地方公共団体の自治に重大な影響を与える」ように思われます」として、総合事務局の権限・機能を「沖縄の実状に即応するよつた必要最小限のもの」、「じひめいよつて國に求めよつとした」

ただこれより、開発庁・総合事務局=「自治侵害」論は琉球政府内でも、一部でひびき始めたようだ。

沖縄の土木建設の施策に携わった元県幹部にわく、「これからは國の恩恵に預かれる」と期待した。商工烟酒を歩んだ別の元幹部も「われわれは貧乏で力もなかつた。開発庁・総合事務局の政策に疑問はなかつたし、有り難かつた」と話す。

そして、復帰後、これらの懸念は払しょくされ、本土との格差是正が追求されたかに見える。

しかし、単なる杞憂として片付いたわけでもなかつた。

復帰十年目の年、「沖縄特別県政構想」が話題となつた。九六、七年を中心とした「国際都市形成構想」をめぐる論議も、沖縄の地方自治に根差した経済振興の在り方を模索するものだつた。開発庁・総合事務局に港湾などの社会資本、教育・医療・福祉などの各種施策にまつまつと見えぬが事務局マークが付いてる。

振興策論議は尽きない。しかし、「恩恵の印」を望むだけではなく、地域住民が本当に望む街づくりの施策に、自分たちの小さなマークを貼り付けて尾を引いてくることのつの表れだ。

総合事務局のある幹部によると、復帰前、開発庁と総合事務局を設置すると沖縄の自治が侵害されるとこつ意見

があつたようだすね」と尋ねたことがある。少々間を置いて、幹部はこいつ答えた。「うーん、理あると感つよ」

一九八〇年十月、県内市町村長を対象に「小県内閣が推し進める構造改革と地方自治・分権に関するアンケート」をする機会があった。

「ここから浮かび上がつたのは、聖元県幹部にわく、「これからは國の恩恵に預かれる」と期待した。商工烟酒を歩んだ別の元幹部も「われわれは貧乏で力もなかつた。開発庁・総合事務局の政策に疑問はなかつたし、有り難かつた」と話す。

そして、復帰後、これらの懸念は払しょくされ、本土との格差是正が追求されたかに見える。

しかし、単なる杞憂として片付いたわけでもなかつた。

復帰十年目の年、「沖縄特別県政構想」が話題となつた。九六、七年を中心とした「国際都市形成構想」をめぐる論議も、沖縄の地方自治に根差した経済振興の在り方を模索するものだつた。開発庁・総合事務局に港湾などの社会資本、教育・医療・福祉などの各種施策にまつまつと見えぬが事務局マークが付いてる。

振興策論議は尽きない。しかし、「恩恵の印」を望むだけではなく、地域住民が本当に望む街づくりの施策に、自分たちの小さなマークを貼り付けて尾を引いてくることのつの表れだ。

総合事務局のある幹部によると、復帰前、開発庁と総合事務局を設置すると沖縄の自治が侵害されるとこつ意見

来年、沖縄は復帰三十年を迎える。

沖縄在勤の思い出

て感じたところです。

電気保安協会全国連絡会議
専務理事
(元通商産業部長)
藤井 隆宏

在勤中は、皆様方どいろいな仕事をさせて戴きました。その中でも強く印象に残っていますのは、(財) 南西地域産業活性化センターと他のシンクタンクとの発展的統合です。経済界の指導的立場の方々と沖縄振興のためにあるべきシンクタンクの姿を色々議論をさせて戴きましたことは、沖縄の活力の源泉に触れた思いでした。定期的にお送り戴いている(財) 南西地域産業活性化センターの会報で活動の状況を見る度に、沖縄振興に対する期待と沖縄在勤中の思い出が浮かんできます。

沖縄を離任する時に、想い出に月下美人の鉢を戴きました。昨年、三年目にして初めて花が咲きました。暑い夏の夜に、強い芳香を放つ純白の花に感動しました。今年

秋田県の位置は、ほとんどの人が知っています。東京には、沖縄料理店が数多くあります。ある時、鹿場の同僚十人程で下北沢の沖縄料理店に行きました。ソーミンチキンブルーなどの美味しい料理の陰で沖縄の話題に話が弾みました。さらに、つい先口までは「ちゅうさん」の「ちゅう」の意味を説明すると沖縄音と煽てられていました。

十月の下旬に、約三年ぶりに沖縄を訪問する機会に恵まれました。私の印象では、沖縄は、比較的強い風が吹いてくるところであるし、在職期間を通じて感じていたところです。今回も、東京の深まりつつある秋の風と違つて、夏の終わるまだ暖かいやや強い風を想像

業支援センター・ビル等沖縄の着実な振興を感じさせるものを見にすることができました。さらに、様々な面からのトータルとしての成長を感じ得たのは大きな喜びでした。沖縄らしい高い志を持つた質の高い発展を沖縄で生活したことのある者として常に期待しております。

二ペーパービル



**電気保安協会全国連絡会議
専務理事
(元通商産業部長)**

去る七月に退官し、二十六年間の公務員生活を振り返つて見ますと、沖縄在勤時代は、公私に亘つて想い出深い二年間でした。「ことは楽しく、意欲をもつて！」というのが、小生のモットーの一つです。通商産業部を始め総合事務局の皆さんのお陰でこのモットーに沿つて、二年間を有意義に過ごさせて戴きましたことに大変感謝致しております。

在勤中は、皆様方いろいろな仕事をさせて戴きました。その中でも強く印象に残っていますのは、（財）南西地域産業活性化センターと他のシンクタンクとの発展的統合です。経済界の指導的立場の方々と沖縄振興のためにあるべきシンクタンクの姿を色々議論をさせて戴きましたことは、沖縄の活力の源泉に触れた思いでした。定期的にお送り戴いている（財）南西地域産業活性化センターの会報で活動の状況を見る度に、沖縄振興に対する期待と沖縄在勤中の思い出が浮かんできます。

沖縄を離任する時に、想い出に月下美人の鉢を戴きました。昨年、三年目にして初めて花が咲きました。暑い夏の夜に、強い芳香を放つ純白の花に感動しました。今年

ですが、秋めいてきた十月の末に大きな花が一輪咲いて、そして同時に三輪も咲きました。月下美人も東京の環境を感じて、花の寂しい頃を選んだのでしょうか？翌朝には、早速、花をおひたしにして沖縄時代を思いながら戴きました。沖縄を離れて三年が過ぎました。大和人にとって、沖縄は憧れです。そして、沖縄に関心を持つている人の多さにはびっくりしています。秋田県の位置は知らなくても、沖縄県の位置は、ほとんどの人が知っています。東京には、沖縄料理店が数多くあります。ある時、隣の同僚十人程で下北沢の沖縄料理店に行きました。ソーミンチやンブルーなどの美味しい料理の spécialiséで沖縄の話題で話が弾みました。さうしてつい先口までは、「ちゅーさん」の「ちゅー」と意味を説明すると沖縄通と煽てられていました。

十月の下旬に、約三年ぶりに沖縄を訪問する機会に恵まれました。私の印象では、沖縄は、比較的強い風が吹いているところであるが、在職期間を通じて感じていたところです。今回も、東京の深まりつつある秋の風と違つて、夏の終わる頃のまだ暖かいやや強い風を想像して感じたところです。

して久米島一泊の滞在をしましたが、穏やかな気圧配置のお陰で優しい琉球の風を感じることができました。最終日の夕方には、経済産業部に立ち寄らさせて戴きました。時の隔たりを感じるところなく皆さんと懇談できましたのは、正に親しみを持つた人間関係を構築する素晴らしい沖縄の風土のお陰であると思います。イチャリバチヨーテー。

新空港、それに隣接した沖縄産業支援センタービル等沖縄の着実な振興を感じさせるものを目にすることことができました。たちに、様々な面からのトータルとしての成長を感じ得たのは大きな喜びでした。沖縄らしい高い志を持った質の高い発展を沖縄で生活したことのある者として常に期待しております。二ペーパーピール。



第18回 伝統的工芸品月間

图画・作文コンクール

图画部門



沖縄総合事務局長賞
経済産業大臣賞

題名	守り神を作る技
氏名	喜納 安海
学校名	竹富町立 古見小学校



沖縄県知事賞
伝統的工芸品産業振興協会会长賞

題名	漆器のもようを描く人
氏名	嘉陽 万里枝
学校名	沖縄市立 美原小学校

作文部門

沖縄総合事務局長賞
伝統的工芸品月間推進会議議長賞

題名	故郷の餅に誇りを持って
氏名	仲里 美希
学校名	南風原町立 南星中学校

沖縄県知事賞

題名	生まれ変わる芭蕉布
氏名	山城 晴梨
学校名	大宜味村立 大宜味中学校

沖縄総合事務局

ホームページアドレス <http://www.ogb.go.jp>

局報「群星」に対する「皆様の声」をお待ちしています。